



コミュニティ政策学会

コミュニティ政策学会

Japan Association for Community policy

Newsletter No.45 (2020.10.5)

第19回 学会大会（オンライン）について

開催日時 : 2020年10月18日(日) 12:30~17:30

主催 : コミュニティ政策学会

開催形態 : Zoomを利用したオンラインビデオシステム会議

大会参加費 : 無料 (本大会は、試験的な運営実施のため、参加者は会員限定とします)

【プログラム:10月18日(日)】

| | |
|--------------------|----------------------|
| 総会 : 12時30分~14時00分 | ※Zoom入室可能時間は12時15分です |
|--------------------|----------------------|

| | |
|---------------------|----------------------|
| 分科会 : 14時30分~15時50分 | ※Zoom入室可能時間は14時15分です |
|---------------------|----------------------|

自由論題部会 A

●報告者:

①伊藤雅春(明星大学)

熟議システムにおけるミニ・パブリックス型熟議の継続が小規模自治体に及ぼす影響の実証研究(1)「自己組織化診断マップ」によるインタビュー対象者の全体像の提示—

②篠藤明德(別府大学)

熟議システムにおけるミニ・パブリックス型熟議の継続が小規模自治体に及ぼす影響の実証研究(2)—市民討議会における職員・議員参加の効果と可能性—

③前田洋枝(南山大学)

熟議システムにおけるミニ・パブリックス型熟議の継続が小規模自治体に及ぼす影響の実証研究(3)—近隣自治体への影響を中心に—

自由論題部会 B

●報告者:

①吉村輝彦(日本福祉大学)、小木曾早苗(名古屋市立大学)

中間的社会空間を媒介とした地域づくりのプロセスデザインとマネジメント—知多市朝倉団地におけるコミュニティプレイスづくりの実践を通して—

②小木曾早苗(名古屋市立大学)、吉村輝彦(日本福祉大学)

参加支援に着目したコミュニティエンパワメント推進の実践研究—知多市朝倉団地における「お福の部屋」の取組を通して—

③金谷一郎(大阪経済法科大学)、ト田真一郎(常磐会短期大学)、川端麗子(神戸女子大学)

大阪市生野区における「多文化共生のまちづくり拠点」に関わる検討—まちづくりに関わる実践者へのインタビュー調査を通して—

分科会：16時00分～17時20分

※CはA、DはBと同室のためZoom入室可能時間は14時15分です。

自由論題部会 C

●報告者：

- ①池山敦（皇學館大学教育開発センター准教授）
宮城県山元町における津波被災自治会の再建
- ②市川享子（東海大学健康学部健康マネジメント学科）、岡部明子（東海大学医学部看護学科）
被災地域における保健師によるコミュニティ支援構築に関する研究
- ③橋川健祐（金城学院大学人間科学部コミュニティ福祉学科）
地域共生社会に対する批判的検討と今後の政策並びに研究課題に関する予備的考察

自由論題部会 D

●報告者：

- ①井出晃憲（稚内北星学園大学情報メディア学部）
ロシア極東マイノリティと国際協力NPOの協同的実践によるコミュニティの活性化
- ②沼田真一（東京造形大学准教授）
読書活動の推進による地域活性化に関する研究
—横浜市旭区での実践を事例として—

【オンライン大会の進め方とお願い】

○総会は、ホスト（事務局）と司会者によって運営されます。発表者以外は、マイクをオフにしてご参加ください。

○各自由論題部会は、ホスト（事務局）と司会者によって運営されます。発表者および参加者は指示される時間に従って、発表・質疑応答をお願いいたします。

○発表資料は「Zoom」ID等と共に、PDF ファイルをダウンロードできる URL を参加者のメールアドレスに送信いたします（発表資料がない場合もごさいます）。発表者はカメラ・マイクをオンにし、画面共有機能によって画面を共有しながら、発表を行います。

○質問は、質疑応答時間に「チャット」機能を用いて行います。所属、お名前、質問内容をご記入ください。

○参加者はマイクをオフにして、ご参加ください。質問がある場合は、質疑応答時間に、司会者の指示に従い、チャットでご質問ください。

○Zoomでのオンライン会議などにご参加経験がない方は、下記をご参照ください。なお、初めてのオンライン開催であるため、事務局において十分なサポートができない可能性があります。あらかじめご容赦ください。

参考 URL：

オンライン学会向け Zoom マニュアルの公開

<https://redbuller.hatenablog.com/entry/2020/03/28/022605>

【大会への参加申込方法】

申込期限：10月16日（金）

※「Zoom」ID等の送信があるため、当日の参加申込はご遠慮ください。

●会員 ML 及び学会ホームページから下記にアクセスし、必要事項をご記入の上、Google フォームを送信してください。

https://docs.google.com/forms/d/16-tx8L4PL_WaR10Wb7pnqo571puyGPKgH2oucXfpl0/edit

お申込み頂いた方に、2020年10月17日（土）に、「Zoom」ID等、資料ダウンロードの URL をお送りいたします。

メールアドレスおよびメルマガ登録のお願い

事務局のある法政大学は引き続き入講制限により、郵便物や電話・FAX は受取にくい状況にあります。事務局への連絡はメールを中心にお願いいたします。アドレスの登録・変更は事務局にお知らせください。また学会員向けのメルマガを発行しております。未登録の方も併せて、お知らせください。

事務局メールアドレス office@jacp-official.org

研究プロジェクト募集

「コミュニティ政策学会・研究プロジェクト設立の申し合せ事項」に基づき、新規の研究プロジェクトの提案を募集します。

会員の中に存在する多様な研究のシーズを発掘し、学会内においてそれを開花・発展させるべく、公募方式で研究プロジェクトを募集することになっております。多くの応募があることを期待しています。応募のあったプロジェクト案は、研究企画委員会にて吟味した上で、理事会の承認を経て、学会の媒体を用いてプロジェクト・メンバーの募集・広報を実施します。ぜひ、ふるって応募ください。

■応募申請先：研究企画委員長 乾 亨（立命館大学名誉教授）inui@ss.ritsumeai.ac.jp

<参考>「コミュニティ政策学会・研究プロジェクト設立の申し合せ事項」

1. コミュニティ政策学会は、コミュニティに関する理論と政策の研究の発展をはかるため、会員からの提案に基づき研究プロジェクトを研究企画委員会のもとに設立する。

2. 研究プロジェクトを提案する会員は、①責任者の氏名、所属、連絡先、②研究の趣旨、③共同研究の進め方、④研究実施の期間、を示すプロポーザルを研究企画委員会へと提出する。実施される研究プロジェクトは、学会会員からの参加を募るものでなくてはならない。

研究実施の期間は、2年～4年の間としなければならない。ただし、実施期間内に学会大会で研究成果の中間報告を行うことを条件に実施期間を延長することもできる。

3. プロポーザルの内容は、研究企画委員会が吟味した上で、理事会にて会員への参加公募を認めるプロジェクトを承認する。会員への研究プロジェクトへの参加公募は、Newsletter、メルマガ、学会 HP 等を通じてなされる。

4. 参加者の公募期間の後、研究プロジェクトの提案責任者は、研究プロジェクトへの参加メンバーを研究企画委員会に伝える。研究企画委員会は、①研究プロジェクトが複数の会員から構成されていること、

②プロジェクトの参加者の過半がコミュニティ政策学会会員であることを確認し、研究プロジェクトの発足を正式に承認する。

5. 研究プロジェクトは、研究実施期間内に学会大会ないしシンポジウムにてその研究成果を発表し、その内容を学会誌にも掲載する。またプロジェクトの進捗状況は、理事会開催時に先立ち研究企画委員会に伝えるようにし、理事会に進捗状況が伝わるように努める。

6. 正式に発足した研究プロジェクトに対しては、毎年度、5万円を上限に活動費を学会会計より支給する。

各研究支部の活動報告

【関東支部】

交流会のお知らせ

テーマ：「ウィズコロナ/アフターコロナ時代のオープンガーデン——オープンガーデンの問題点を共有する」

日本のオープンガーデンは、庭のオーナーと訪問者がガーデニングを通じた緩やかな関係性を築くことで、一般の住宅街に交流人口や関係人口を創出してきた。コロナ禍における「Stay Home」は、ガーデニングを伸長させたという見方もあるが、一方で各地のオープンガーデンの公開イベントは中止を余儀なくされている。既存のガーデニングコミュニティの現状について、オープンガーデンの担い手の視点からお話頂き、コロナ禍における課題を共有、意見交換を行う。

日時：2020年11月14日（土）14時～16時40分

場所：Zoomによるオンライン方式

内容：関東におけるオープンガーデンの取り組み概要と課題の発表及び質疑・助言

主催：コミュニティ政策学会関東研究支部

文部科学省 科学研究費基盤研究(C)「主催者意識及び立地環境をパラメーターとしたオープンガーデンの観光基盤モデルの完成(研究代表者：土屋薫)」

【プログラム】

14:00 開会挨拶 土屋薫（江戸川大学）

14:10 研究・実践情報の提供

流山の事例報告 小高静子氏（流山ガーデニングクラブ）

小平の事例報告 若林さち代氏（こだいら観光まちづくり協会）

大磯の事例報告 大倉祥子氏（大磯町観光協会）

15:20 パネルディスカッション：「問題点の共有と今後の方向性の模索」

司会 林香織（江戸川大学）

パネリスト 小高静子氏・若林さち代氏・大倉祥子氏

コメンテーター 土屋薫（江戸川大学）

16:10 視聴者を交えた意見交換：「コロナ時代のコミュニティとガーデン」

16:40 閉会挨拶

お問い合わせ : kanto@jacp-official.org (関東研究支部事務局・淵元)

申込方法 : 下記にアクセスし、必要事項をご記入の上、下記 Google フォームを送信してください。

https://docs.google.com/forms/d/1yLv2a53z0rSpbtJacdiP45BBRT-84g29L9Y8_KFBUJo/edit

お申込み頂いた方に、2020年11月13日(金)に、「Zoom」ID等、資料ダウンロードのURLをお送りいたします。

申し込み締め切り : 11月8日(日)

※「Zoom」ID等の送信があるため、当日の参加申込はご遠慮ください。

事務局からのお知らせ

1. 2020(令和2)年度の年会費につきましては、請求書を11月頃(予定)にお届け致します。

また、2019(令和元)年度以前の年会費につきまして、未納の会員の方は納入をお願いいたします。年会費未納の会員の方は、ニュースレターや学会誌の受領、大会・シンポジウムへの参加、学会誌への投稿等の会員サービスを受けられないことがありますので、ご注意くださいようお願いいたします。

個人会員は年額8,000円(ただし学生会員は年額5,000円)、団体会員は年額30,000円です。お振込は、下記の口座へお願いいたします。振込手数料は各自ご負担ください。

ゆうちょ銀行 口座番号 : 00860-3-96143 コミュニティ政策学会

三菱東京UFJ銀行 豊田支店 普通 3879782 コミュニティ政策学会 代表 名和田是彦

2. 会費の納入やニュースレターなどの送付物に関するお問い合わせ、あるいは所属の変更等に関するお届けについては、事務局までご連絡ください。連絡先は下記の通りです。

3. 学会誌『コミュニティ政策18』につきまして、発送作業を進めております。お手元に届くまで、今しばらくお待ちください。

コミュニティ政策学会 Newsletter No.45

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1 法政大学法学部気付

TEL 03-3264-9441 FAX 03-3264-4045

E-mail office@jacp-official.org <https://jacp-official.org/>

発行日 2020年10月5日 編集 事務局 伊藤、杉崎、林、土屋